

# 学校支援を積極的に進める

～ 「えがお つなげる がまん」つながりをお大切にしたPTA活動 ～

## 蒲郡市立蒲郡南部小学校PTA

### 1 学区及び学校の概要

本校は、今年度開校150周年を迎えた。蒲郡の中心部に位置しており、学区には蒲郡駅、市立図書館、勤労福祉センター等の公共施設や商業施設も多くある。本校敷地内には「がまんの森」があり、自然に囲まれている。令和3年度から地域学校協働活動に取り組みはじめ、今年度より中学校区でコミュニティスクールを導入した。本校は、児童数382人、17学級（内特別支援学級4）の中規模校である。

### 2 研究のねらい

新型コロナウイルス感染症が5類になり、生活における様々な制限がなくなったというものの、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、複雑化している。そこで、子どもたちの健やかな成長のために、家庭・学校・地域がつながり、かかわり合い、連携してそれぞれの役割を果たしていくことが必要であると考え。そこで、PTA活動において、家庭や地域が積極的に学校とかかわり、支援を行っていくことにした。

### 3 研究の仮説

「できるときに」「できるひとが」「できることを」という考えのもと、子どもたちの笑顔につながる様々なPTA活動の場をつくり取り組んでいけば、家庭・学校・地域がかかわり合い、つながりが広がっていくだろう。

### 4 研究の方法

子どもたちの笑顔につながる、家庭・学校・地域の連携・交流をお大切にしたPTA活動を推進していく。子どもたちの姿から、学校支援の場や方法が適切であったかどうかを検証する。

### 5 研究の実践

#### (1) 学校行事のサポート

##### ア 開校150周年を祝う会

第1部は、本校出身の方々による「マリンバ演奏会」、第2部は「風船飛ばし」を行った。PTA役員は、裏方として風船の準備や風船渡しのお手伝いを行った。新型コロナウイルス感染症が5類となり、久しぶりに全校集まる行事だったので、スムーズに会が進むように心がけた。



児童会長の合図で400個（一人1個）近くの風船が空に舞い上がった時には、子どもたちから自然と歓声があがり、笑顔が広がった。

## イ 持久走プレーデー

毎年12月に行われる持久走プレーデー。がんばった子どもたちに喜んでもらいたいという思いで、「飲み物サービス」を行っている。事前に、6種類の飲み物から子どもたちの希望をとる。その際には、食物アレルギーに配慮し、お便りを配付し保護者の承諾のもとに行っている。

当日、持久走プレーデーを終えた子どもたち一人一人に、PTA役員・幹事から飲み物を手渡した。「ありがとうございます」とうれしそうに受けとる姿、苦しさを乗り越えたすがすがしい子どもたちの笑顔に感動した。そして、PTA役員・幹事が協力して行うことができ、つながりも深まった。

### (2) 資源回収

学校敷地内に資源回収コンテナを常設し、ダンボール・雑誌・新聞・空き缶・牛乳パックの資源を回収している。地域の方々には、回覧板等を利用して呼びかけた。常設の資源回収を開始して4年目となり、多くの地域の方にご協力いただいている。また、年2回、校区の事業所さんにもご協力いただいで多くの資源を回収できている。収益は、子どもたちの教育活動・PTA活動に役立てている。

### (3) 教養講座

毎年1回、保護者の教養力向上と交流の機会として教養講座を行っている。今年度のテーマを「防災力アップ講座～備えのきっかけとこれから～」と題し、防災士さんをお招きした。さらに、地域の方々とも防災を通してつながりたいと考え、新たな試みとして、公民館だよりで参加を呼びかけた。

講座では、非常食やローリングストック法、防災グッズなどについて学び、すぐに実践できそうなことばかりであった。また、地域の方との交流を深めるよい機会となった。そして、災害から子どもたちを守るためには、地域全体がつながって防災に対する意識を高めていく必要があると感じた。

### (4) PTA広報誌「がまなん」の発行

学校行事、授業等の子どもたちの様子を写真にとり、広報誌「がまなん」としてまとめ、各家庭に配付している。「がまなん」を話題として、家庭での会話が弾むようにと願いを込めて作成している。またPTA活動について保護者のみなさんに知っていただき、ご理解とご協力をしていただいている。

### (5) 地域学校協働活動との連携

これまでPTA活動として行っていた「図書ボランティア」は、今年度より、地域学校協働活動とコラボして保護者に参加を募り、取り組んでいる。その他、下校サポートやプール見守りなども地域学校協働活動として行っているが、地域の方々だけでなく、多くの保護者も参加している。

## 6 研究の考察

つながりを意識して取り組んできたことで、多くの大人の手で学校を支援する活動を充実させ、様々な場面で子どもたちの笑顔を見ることができた。

## 7 成果と今後の課題

様々なPTA活動を通じて、つながりが広がっている。今後も地道な取り組みを続けていくこと、そして、「できるときに」「できるひとが」「できることを」という考えのもと、つながりの場を生み出すために、地域学校協働活動とどのように連携し、学校を支援していくかを考えていきたい。